

平成30年度 第1回鶴岡市健康なまちづくり推進協議会（会議録）

- 日 時 平成30年8月21日（火） 午後1時30分から午後3時30分
- 会 場 鶴岡市総合保健福祉センター にこ♥ふる 3階 大会議室
- 次 第
 - （1）いきいき健康つるおか21保健行動計画策定について
 - （2）現計画の評価について
 - ①保健行動計画
 - ②母子保健計画
 - ③歯科口腔保健行動計画
 - （3）自殺対策計画（案 新規）
- 出席委員
鈴木伸男、鈴木千晴、阿部美枝子、加藤和佳子、安孫子千佳（代理）、遠藤賢、七森玲子、松本新市、秋山美紀、千田洋子、渡部文子、齋藤邦夫、佐藤しおり、馬場國子、蛸井由美子、小林達夫
- 欠席委員
毛呂光一、日詰直史
- アドバイザー
慶應義塾大学 武林亨
- 市側出席職員
健康福祉部長 齋藤功、健康福祉部健康課長 五十嵐英晃、同課保健主幹 小林まゆみ、藤島庁舎市民福祉課長 伊原千佳子、羽黒庁舎市民福祉課長 岡部富美、櫛引庁舎市民福祉課長 佐藤美鈴、朝日庁舎市民福祉課長 天然せつ、温海庁舎市民福祉課長 佐藤美香、健康課母子保健主査 岡部奈緒子、同課母子保健主査 若生幸、同課成人保健主査 金内節子、同課成人保健主査 五十嵐信子、同課成人保健主査 山口えみ、同課高齢保健主査 加賀安子、同課高齢保健主査 鈴木美幸、同課保健総務主査 渡部仁、同課保健総務主査 新田由里、同課健康福祉専門員 児玉奈美、同課専門員 佐藤剛、同課専門員 疋田美由紀、同課専門員 芳賀千春
- 公開・非公開の別 公開
- 傍聴者の人数 1人

1. 開 会

事務局（新田）

定刻になりましたので、平成30年度第1回鶴岡市健康なまちづくり推進協議会を開催いたします。本日は大変お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。暫時の間進行をつとめさせていただきます健康課の新田と申します。どうぞよろしく願いいたします。委員の委嘱状の交付については、資料と一緒に配布させていただいておりますので、交付式は省略させていただきます。それでは、次第に従いまして進めさせていただきますと思います。次第2. あいさつを齋藤健康福祉部長が申し上げます。

2. あいさつ

健康福祉部長

皆さまこんにちは。健康福祉部長の齋藤と申します。どうぞよろしく願いいたします。

本日は、お忙しいところ平成30年度第1回鶴岡市健康なまちづくり推進協議会にご出席いただきありがとうございます。また日頃から、本市の保健行政の推進に対し、ご指導・ご協力いただきまして心から感謝申し上げます。

今年度は、2年に一度の委員の改選の年にあたり、新たに7名の方に委員に加わっていただいたところであります。引き続き委員にご就任いただいた皆様も含め、本協議会の委員を快くお引受けいただき重ねてありがとうございます。また、慶應大学の武林先生からは本協議会のアドバイザーとしてご尽力を賜りたいと存じます。

この協議会は、市民一人ひとりがいきいきと健やかに暮らす健康福祉社会を目指して、心と体の健康の増進を図るため、健康増進法に基づき設置されたものでございます。健康施策全般にわたり委員の皆様からご意見をいただき市の健康行政に反映させていただいております。新任の委員の方々からは新鮮な感覚で、再任された委員の皆様からは、より深くそれぞれの立場、専門的な立場からご意見をいただき、活発な協議会にさせていただければありがたいと思います。

今年度は、保健行動計画の満了の年にあたりまして本市の健康施策の基本指針というべき保健行動計画を策定する年となっております。また、関連する母子保健計画、歯科口腔保健行動計画も同様に期間の満了を迎えておりまして、更に関連法令により自治体に策定が義務付けられました自殺対策計画を含め、これら四つの計画を一体として策定することとしています。別途、鶴岡市の今後10年間のまちづくりの方向性を示す総合計画の策定についても作業を進めておりまして、本日午前中、本協議会の複数の委員から構成メンバーになっていただいております総合計画審議会厚生専門委員会が開催されたところでありまして、総合計画の関連も含めまして、委員の皆様からご意見をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

簡単ではありますが、協議会の開会にあたっての挨拶とさせていただきます。

3. 委員紹介

事務局（新田）

それでは、次第の3. 委員の皆様を紹介させていただきます。

（委員の氏名を紹介）

4. 役員選出

事務局（新田）

続きまして、次第の4. 役員選出に移らせていただきます。鶴岡市健康なまちづくり推進協議会設置要綱第5条第1項の規定により、会長、副会長は委員の互選により定める、となっておりますが、いかがいたしましょうか。（事務局一任）

事務局一任との声がありました。事務局よりご提案させていただきます。会長には前任期に引き続き鈴木伸男委員、副会長についても引き続き千田洋子委員にお願いすることをご提案いたしますが、いかがでしょうか。（賛成多数）

それでは、全会一致で選出されましたので、会長・副会長は、役員席にご移動をお願いしたいと思います。

それでは、次第の5. 会長あいさつを鈴木会長にお願いいたします。

5. 会長挨拶

鈴木会長

鈴木でございます。只今、会長に再任されました。皆様どうぞよろしく願いいたします。

皆さんご承知のとおり大変暑い夏で、猛暑、それから熱中症、熱中死大変多かったです。一方で、豪雨災害、大変な夏だった。

もう一つは、これは大変良い事。良い事といたしますか、甲子園で熱闘、熱戦が続いている。今日は実は決勝戦。皆さん、金足農業応援している人手を挙げてください。100%ですね。午後2時半からですが、私はビデオを用意してきました。この会は午後3時半までということで後でゆっくり観ようと思う。午後3時半までは、この会に熱を入れたいと思います。一つ追加いたします。市議会議員の田中宏さんがおみえになって、視察といたしますか、傍聴だそうであります。何となく緊張しますが、今後の市政に活かしていただければと思います。

では、よろしく願いいたします。

事務局（新田）

それではここで、本日の配布資料の確認をさせていただきます。

- 配布資料の確認 -

それでは、次第の6に移らせていただきます。次第の6以降につきましては、設置要綱第6条の規定に基づき鈴木会長より進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

6. 説明

鈴木会長

それでは、私が進行をつとめさせていただきます。事務局説明をお願いします。

(1) いきいき健康つるおか21保健行動計画策定について

－事務局（五十嵐）資料1を説明－

(2) 現計画の評価について

①保健行動計画

－事務局（渡部）資料2①保健行動計画の評価を説明－

②母子保健計画

－事務局（岡部）資料2②母子保健計画の評価を説明－

③歯科口腔保健行動計画

－事務局（新田）資料2③歯科口腔保健行動計画の評価を説明－

(3) 自殺対策計画（案）

－事務局（加賀）資料2自殺対策計画（案）を説明－

鈴木会長

ありがとうございました。質問ございましたらお受けしたい。特にありませんか。また、後で出していただいても。私から一言、苦言と申しますか。この資料ですね、もらいましてさっさと目を通しまして何だかわかりにくいなと思ひまして、正直。何でだろうと思った。まず一つは寄せ集め。これは担当した職員がそれぞれなので、仕方がない。それから、番号のふり方がよくない印象を受けました。それから、目次というのがある。これは2、3日前に私がこういうのがあればと言ったので、整理してくれたんだと思うが、初めからこういうのがあればわかりやすかったと思うので、今後の参考にしていただければと思います。では、よろしくお願ひします。

では次、グループワークということでお願ひします。

7. 協議 - グループワーク -

事務局（小林）

それでは、次第に従ひましてグループワークを進めていきたいと思ひます。小林と申します。よろしくお願ひいたします。皆さん、A3の大きい資料を広げていただきたいと思ひます。それから、今日お配りした「グループワークについて」という資料も皆さんございますか。これから職員も皆さんのグループワークの中に入って進行等します。

皆さん、A4のグループワークの進め方の資料をご覧ください。今回のグループワークは、委員の皆様からたくさんの方、意見や感想を出していただきたいという思ひがあります。これから平成31年度から5年間の次期計画を立てることとなります。ですから、ぜひ5年間に取組みたいなと思ひ出すことをたくさん出してほしいということが大きなねらいです。自己紹介すると同時に皆さんが考えてきた重点的な取組み3つを紹介してください。そして職員の付箋係が委員の方が出した意見をすばやくまとめて付箋に書いて貼ってください。そしてグループの皆さんの意見が出終わったら付箋が貼られたもので、私のグループではこの事に取組みたいというものを3つまでしぼりこんでください。あまりいっぱいだと時間がないので。そして、その後グループから発表してもらい、共有したいと思ひます。

グループワークの終了の時間等は私の方で声をかけます。最低でも20分はしたいと思ひます。では、よろしくお願ひします。

(4グループに分かれ グループワーク開始 ー約20分ー)

第1 グループ報告（新田）

まず一つめは、がんについてです。がん検診受診率30%は低い。命に直結しているものなので、目標は50%となっていますが、100%を目指すという取組みです。

次に喫煙についてですが、庄内地域は20～30代の若い世代の喫煙率が高い。なので若い世代への動機づけが必要ということです。たばこを吸うと寝たきり期間が10年伸びて寿命が5年縮まると言われていますが、喫煙するとどうなる、とか受動喫煙等の影響も小中学校から学ぶべきであり、若い世代へのアプローチを節目節目で行うことが大切だということになりました。

次に運動ですが、これは一番ハードルが高いと思われることなので、ある程度支援を強制しないといけないのではないかとということで、民間も活用して進めるということです。例えば再検査の際に、ドクターから運動はしていますか、次回には運動は続けていますか、というような、運動に対する支援をしてもらうような取組みです。

第2 グループ報告（鈴木）

まず、食生活の面では食事は大事だよ、という意識を子どもも母親世代も高齢者も高めてほしいということです。課題は各世代にあります。中には朝食が不十分な子どももいて、お腹がすいて具合が悪くなるなどの影響も出ています。母親たちの食事に対する意識も課題です。また、一人暮らし高齢者では食事の内容に問題がある場合もあります。それぞれの世代で、意識を高める取組みが必要です。

運動も同じように、子どもについては外遊び、散歩等の小さい頃からの習慣がないと、そのままになってしまうことになります。また、中年の人たちの運動不足も課題です。そして高齢者も体を動かしていかなければならない、ということで全世代で取り組む必要があります。

休養についても、睡眠時間の確保が特に重要だということになり、子どものゲームによる夜更かし、それが睡眠不足になり、朝食を食べられないことにつながっていることや、働き盛りの人たちの睡眠不足が心の健康を害していることなど、食事、運動、休養すべてつながっている中で、それぞれの対象にあった取組みが必要という意見が多くでました。

第3 グループ報告（若生）

まず、運動のところでは、日常生活の中では運動をする機会が都会に比べてこの辺の人は少ないので、公共交通機関やバス旅行などのイベントにウォーキング等の運動を取り入れたらどうか、例えば大山新酒祭りはどうか、との意見も出ました。健康の面からだけの運動でなく、他の職種や公共機関ともタッグを組みながら運動を取り入れていけばよいのではないかと、という意見が出ました。

次のがんのところでは、やはりがん検診の受診率が低い、どうしたら上がるかということをお話ししました。日曜がん検診や事業所まわり、またオプションで受けるがん検診の受診率が低いので、自己負担を少なくして半強制にするシステムにしたら受診率もあがるのでは、という意見が出ました。また若い人の受診率が低いので、若い人同士、誘い合うようにしたらよいのでは、などの意見も出ました。母子保健計画のところでは、安心して出産子育てできるような職場環境の整備、待遇の改善、支援体制の整備をしてほしいという意見が出ました。

第4 グループ報告（五十嵐）

4 グループでは一つめに栄養・食生活、次に運動を決定しましたが、三つめを絞り込む時に新しい情報等いただきながら悩んだところです。最初の栄養・食生活ですが、欠食率が高いとか、子どもから成人まで肥満者がいること、減塩対策が不十分などもあり、全年代への偏りない正しい食事が必要ということがまず重要課題だということになりました。

次の運動については、若い世代の運動習慣定着率が低いということや、高齢者の筋トレの習慣、100歳体操などの普及も図られてはいますが、健康寿命を伸ばすためにはまだまだ必要ということで、全世代への運動習慣定着が二つめの課題となりました。

三つめは新しいアイデアとして健診受診率アップの対策として、精しょう検査を取り入れたらどうかということになりました。喫煙、歯科関連を挙げる意見も出て絞り込めませんでした。それらが重要課題であるということになりました。

事務局（小林）

どうもありがとうございました。本日は委員の皆さんからたくさん声を出していただくということで、事前に書いてきていただき、グループでも大事なことをしぼるということを目指していました。どのような形でこれからの計画になるのか、あるいは日常の事業とか地域活動に少しでも活かされるものもたくさんあるのかなと感じましたので、今後皆さんの意見は貴重なものとして活用していきたいと思います。グループワークとしてはこれで終わりとさせていただきます。

8. アドバイザーによる講評

鈴木会長

いよいよ、最後に近づきました。アドバイザーの講評ということで、武林先生お願いいたします。

武林アドバイザー

皆様大変お疲れさまでした。そろそろ野球のスコアが気になる頃かと思います。

皆さん、グループワークの中で、とても色々な具体的な意見が出ていたなと思います。また後程申し上げますが、それがこれから一番大切かなと思っています。一番最初に鈴木伸男先生がわかりにくいというふうにおっしゃいましたが、改めて皆さんのお手元の保健行動計画のカラーのダイジェスト版を見てもわかるんですが、取り組みがいっぱいあるんですね。それから、今日の会議の出席者の名簿で職員の皆さんの名簿があるんですけど、これだけ多くの職員の皆さんが出てくるということは、これだけやらなきゃいけないことがあるわけで、母子保健の担当の方もいらっしゃれば、高齢保健、成人保健、更に各庁舎の皆さんもお越しになっている。要するに、健康に関することはほとんどここに書いてあって、尚且つ、地域福祉計画、あるいは更に全体の計画の中ではもっと上位の計画があって、その中で、次々と健康日本21の保健計画もつくらなきゃいけないし、子ども、母子、高齢もやらなきゃいけない、聞いている方は、もう次々と、こんなにまじめにやっている市町村はたぶん鶴岡市が1番位で、担当の皆さんが

一生懸命やればやるほど、聞いている委員の皆さんは、あれもやってる、これもやってる、しかも A とか C とか D とか聞いているうちにわかんなくなっちゃうんですけど、むしろ次の保健行動計画を作る時には、それを踏まえて今日あった皆さんの声を活かした保健行動計画にさせていただくのがいいかなと思います。

1 グループのところでも、いきいき 100 歳体操の話題になりましたが、これは一応行政の仕組みの中では長寿介護課がやっている介護予防の範疇に入るわけです。しかしここにいる中では同じ仲間というか、つながっているわけで、それぞれ担当の皆さんがやっていたとしても、この計画の中では、いきいき 100 歳体操、実は以前秋山先生と本家を見学に行ったのですが、体操することも大事で、そこに人が集まってつながることも大事ということが言えると思います。そういうことをやって、今度どうやったら人の行動が変わるかということを皆さんのアイデアの中から積み重ねていって、それを次の計画の中に入れていくのがいいのかなと思います。

カラーダイジェスト版を見ても、今の保健行動計画はこういう人になりましょうという行動目標が書いてありますけど、それをどうやってやるか、具体的な行動をどう変えるかということが書かれてないですね。おそらくこの協議会では、ぜひどうやったら鶴岡市民の行動が変わるのかっていう、今日皆さんがグループワークしていたことが、一番大事だと思います。この後、半年後位には 2 回目の協議会があって、市の皆さんが来年度の計画を作られると思いますが、あまり目標とか目標値にとらわれ過ぎないで、それはそれとして大事にしながら、せっかくいろいろなバックグラウンドから集まってきていらっしゃるのだから、どうやったら変えられるのかっていう具体的な行動を変えるアイデアを、協議会の中では今日のように出させていただくと、もっとずっと身近なものになると思います。それによって本当に鶴岡の健康寿命がよくなるのではないかと、皆さんの発表を聞いていて、今日のこの付箋にも出てこない皆さんのアイデアを漏れ聞いていく中で、一番強く感じました。

やっぱり住民の皆さんにとっては、保健であろうが、介護予防であろうが、全部同じ一つの事なので、行政いろいろ担当があるとは思いますが、そこをいかにできるだけうまく繋ぐか、是非、市の皆さんに考えていただきたいと思います。例えば、介護の話だけでなく、スポーツも一生懸命やっていますよね、今オリンピックのこともあっていますそうですね、スポーツの切り口も健康にとってとても大事で隣同士のようなものですから、そこどうやって繋げるかということですね。そこも行動目標より、行動を変える具体策をどうやって共有するかということを考えていただくことが大事かと思います。僕らの専門の言葉では行動変容と言いますが、どうやって行動を変えられるかという工夫です。

時々、強制的になんて言葉がありましたけど、だいたい皆さん、強制的にやるとやめますよね。なので強制的じゃなくて、出来る工夫が大事です。これは秋山先生のご専門ですが、コミュニケーション、それもただ繋げるんでなく、住民の皆さんから帰ってきた意見を受け止めて互いに情報交換していくと、人間変わると言われていますので、そういう視点も、ぜひこういう協議会の自由な議論の中から皆さんにあげていただいて、それをうまく施策、計画の中に入れていただくといいと思います。

最後に大事な点は、要綱の項目を全部全力でやることはできませんので、重点化をどこかで図る、ということです。それはがん検診になるかもしれませんし、運動かもしれませんし、糖尿病予防かもしれません。全国の計画を見てみると、それぞれの市区町村が、自分たちの特に

大事だということをいくつかしぼって、そこは例えば全市をあげて、ものによっては、例えば鶴岡なら地区別に要点が変わっていくということですね。そういう押さえや重点化を、次の計画の中では、しばらく時間があるので、検討していただくとずっと身近な計画になって、もっとももっと具体的にかわるのではないかと思いました。今、国の動向もちょうど健康日本21については議論しているようで、その様子も聞いてみたら国自身は、これまでの前半と変わらない方向で、大きな変更はないようですから、むしろ下期の5年間は、鶴岡市として重点をどうもってくるか、メリハリのついた計画に向けて、皆さんで議論していただければと思います。以上、皆様へのコメントといたしますか、アドバイスということになります。どうもありがとうございました。

鈴木会長

武林先生、どうもありがとうございました。秋山先生、何か一言コメントございましたらお願いします。

秋山委員

今日、楽しく、どうしたらよくなるかということはこのグループで議論させていただいたんですけども、そうか、と思えるご意見がたくさん聞けてとても楽しく参加させていただきました。引き続き微力を尽くしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

9. その他

事務局

- ・事業の案内について
- ・次回開催に向けての事前原案提示予定のお知らせと協力依頼

10. 閉会

事務局

本日はお忙しいところありがとうございました。